

## 荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県東の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

## 環境サポーターによる学校訪問

三ツ又沼ビオトープに関する学習発表会や環境サポーターの講話が行われました。

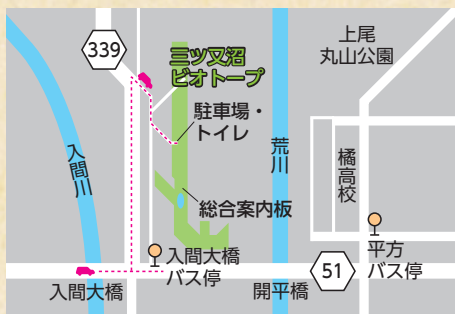
### 川島町立出丸小学校 5年生・6年生-2月21日(金)

5・6年生の子どもたちが三ツ又沼ビオトープを通して学んだことや調べたことを発表しました。「よく調べてあって、とても素晴らしい!」と環境サポーターからも大好評でした。また、埼玉県立いづみ高校の生徒が、来年度から取り組む野の花を増やす取り組みについて、その大切さや育て方について説明しました。5・6年生は、高校生のお兄さんとお姉さんのお話に興味津々の様子でした。



### 上尾市立太平中学校 科学部-2月19日(水)

環境サポーターが、雪の上に残った生きものの足跡や、三ツ又沼ビオトープに今年、訪れた野鳥を紹介しました。



### 【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。

### 【環境サポーター】

荒川の豊かな自然が残されている三ツ又沼ビオトープを守る保管理作業や自然学習の指導をしている市民の方々です。サポーター事務局(荒川上流河川事務所)にて登録しています。



色々な方々が関わっています

学校

大正大学-1月6日(月)

環境コミュニティーコースの学生28名が三ツ又沼ビオトープの保全管理の実習に訪れました。

二つのグループに分かれて、刈り取ったヨシを一カ所に集める作業や外来植物\*1のマグワ(中国原産)の伐採など、環境サポーターと一緒に作業を行いました。

3時間の作業の結果、切り取ったマグワは、小山のようになりました。



学校

埼玉県立いずみ高等学校

現地研修-2月10日(月)

生物サイエンス科の2年生36名が今年度最後の現地研修に訪れました。

雪が積もり、一面真っ白な三ツ又沼ビオトープで、野鳥の観察やハンノキに産みつけられたミドリシジミの卵の調査を行いました。



三ツ又沼ビオトープ保全活動総括発表会-2月27日(木)

生物サイエンス科として、三ツ又沼ビオトープの外来植物の抑制のために1年間取り組んできた在来植物\*2の発芽・育成実験の結果について環境サポーター等に報告がなされました。

環境サポーターからは「貴重な実験データを得ることができた」「ぜひ継続して実験をすすめてもらいたい」などの意見・感想がありました。

\*1 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

\*2 在来植物：日本にもともと生えている植物

三ツ又沼ビオトープ  
トピック

雪化粧のビオトープ  
2月19日(水)



大雪が降ったあとの三ツ又沼ビオトープは、一面真っ白。木道を一周するのもひと苦勞。でも、普段はあまり見ることができない、ホンドリタチなどの動物たちの足跡をたくさん発見することができました。